



# 第53回大阪府空手道選手権大会実施要項

大阪府空手道連盟

\*大会日時 令和元年9月23日(月祝) 午前9時30分～午後5時30分 開会式9時30分  
 \*会場 エディオンアリーナ大阪 第1競技場(大阪市浪速区難波中3-4-36 TEL 06-6631-0121)  
 (地下鉄御堂筋線難波駅下車=徒歩5分 南海電車難波駅下車徒歩5分)

- \*競技種目
1. 府下都市対抗団体組手の部
  2. 成年男子軽量級個人組手の部 (65Kg未満)
  3. 成年男子中量級個人組手の部 (65Kg以上～75Kg未満)
  4. 成年男子重量級個人組手の部 (75Kg以上)
  5. 少年男子個人組手の部 (無差別体重制限なし・高校及び同年令)
  6. 中学1年男子個人組手の部
  7. 中学2年男子個人組手の部
  8. 中学3年男子個人組手の部
  9. 成年女子個人組手の部 (無差別体重制限なし)
  10. 少年女子個人組手の部 (無差別体重制限なし・高校及び同年令)
  11. 中学1年女子個人組手の部
  12. 中学2年女子個人組手の部
  13. 中学3年女子個人組手の部
  14. 成年男子個人形の部
  15. 少年男子個人形の部 (高校及び同年令)
  16. 中学1年男子個人形の部
  17. 中学2年男子個人形の部
  18. 中学3年男子個人形の部
  19. 成年女子個人形の部
  20. 少年女子個人形の部 (高校及び同年令)
  21. 中学1年女子個人形の部
  22. 中学2年女子個人形の部
  23. 中学3年女子個人形の部
  24. 中学生団体組手の部
  25. マスターズ男子組手1部 (40歳～49歳まで)
  26. マスターズ男子組手2部 (50歳～69歳まで)
  29. マスターズ女子組手の部 (35歳～)
  31. マスターズ男子形1部 (40歳～49歳まで)
  32. マスターズ男子形2部 (50歳以上)
  33. マスターズ女子形1部 (35歳～44歳まで)
  34. マスターズ女子形2部 (45歳以上)

\*体重基準 1.軽量級 65Kg未満 2.中量級 65Kg以上～75Kg未満 3.重量級 75Kg以上

計量時間 8:45～9:15

\*審判団 審判長:雪野真吾 副審判長:森本国雄  
 公認組手・形審判員、及び組手・形有資格者で出席確認のあった者のみで構成する。

8時45分集合 審判会議9時

\*競技規則 (公財)全日本空手道連盟 空手競技規定に準ずる。一部本大会の申し合わせ事による。

\*組手競技 試合時間:全種目1分30秒(フルタイム)の8ポイント差で勝敗を決定。

中学生・少年(高校生)はジュニア・カデットルールを採用。

\*形競技 審判員5名の採点による判定方式。(2019年度より実施の競技規定を採用する。)

全試合2名同時に演武を行う。各ラウンドごとにグループ分けをして、上位4名が次のラウンドに進出する。メダルマッチには最終2グループの各上位3名(計6名)が進出する。

選択できる形は以下の通り。メダルマッチと下位ラウンドが重なる場合、メダルマッチの条件を採用する。

少年・成年・マスターズ	ラウンド1(1回戦)	全空連	第1指定形
	ラウンド2(2回戦)	全空連	第2指定形
	ラウンド3(3回戦)	全空連	得意形(下位のどの回戦でも使用していない形)
	ラウンド4(メダルマッチ)	全空連	得意形(下位のどの回戦でも使用していない形)

中学生個人	ラウンド1(1回戦)	全空連	基本形(平安初段～五段,またはゲキサイ第一・二)
	ラウンド2(2回戦)	全空連	第1指定形
	ラウンド3(3回戦)	全空連	第2指定形
	ラウンド4(メダルマッチ)	全空連	得意形(下位のどの回戦でも使用していない形)

彩の国杯優先順位決定 全空連 得意形(下位のどの回戦でも使用していない形)

・同得点の場合、採用最低点の高い方、次に採用最高点の高い方が優位となる。

いづれも同点の場合は、タイブレーク戦を行う。選択できる形は新たな形で、そのラウンドの条件に従う。

タイブレーク戦は1回のみで、赤青フラッグ判定で行う。同点が三人以上の場合は、審判団で協議して順位を決める。

タイブレーク戦に使った形は以降のラウンドに得意形として使用できる。(基本形を除く)

- \*出場資格
- 1) その年度の有効な全空連会員登録者
  - 2) 団体組手エントリーは、個人組手エントリーの所属から行う。
  - 3) 赤青のマイ帯は使用可能(赤青の紐を使う場合は、黒帯の上に巻くこと)。開会式閉会式は赤青マイ帯で参加可能。
  - 4) 成年男子＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、セフティカップを着用。  
 マスターズ男子＝全空連指定メンフォー、拳サポーター、セフティカップを着用。ボディプロテクターの使用を推奨。  
 少年男子＝全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクター、セフティカップを着用する。  
 女子・マスターズ女子＝全空連メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。  
 中学生＝メンフォー、拳サポーター、ボディプロテクターを着用する。男子はセフティカップを着用する。  
※どの選手もボディプロテクターは道衣の中に着用する事。  
※インステップ・シンガード(白赤青可)の使用は推奨としますが、できるだけ使用するようにしてください。
  - 5) 組手選手は眼鏡・コンタクト(ソフトを除く)を使用できない。
  - 6) 各都市の代表監督は必ず審判員の服装にて参加の事。